

2021年3月期 第3四半期 決算説明資料

- | | |
|------------|-----------------------|
| 1) 決算概要 | 6) 減価償却費と研究開発費 |
| 2) 決算のポイント | 7) 通期業績見通し |
| 3) 国内売上高 | 8) 通期業績見通し 修正のポイント |
| 4) 海外売上高 | [参考] 商品群別売上高見通し/為替の影響 |
| 5) 商品群別売上高 | |
| [参考]内訳 | |



日本光電工業株式会社

銘柄コード:6849

2021年2月3日

はじめに) コンプライアンス事案への対応について

2021年1月

当社社員3名の逮捕・起訴 → 調査委員会を設置

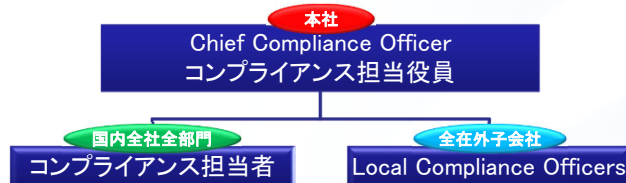
委員長: 社外取締役 村岡 香奈子
社外取締役2名、外部の弁護士2名、
社内取締役2名の計6名

- 当該贈賄事件に係る事実関係の調査および確認
- 他支社・支店における類似事案の有無の調査
- 再発防止策の策定、関係者の処分の検討

●コンプライアンス体制

2016年 日本光電ヨーロッパ: ルーマニアでの商談において不適切な支払いがあった件で世界銀行と和解契約を締結

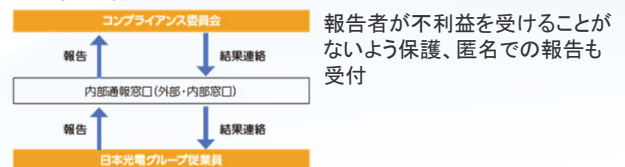
2017年 「腐敗行為防止規定」を制定
「グローバル・コンプライアンス・プログラム」を導入



●コンプライアンス教育 国内支社・支店 年5回実施

- 年1回 職場単位でのコンプライアンス勉強会 (国内外の全役員・社員対象、2019年度は約5,300名受講)
- 年1回 リスク管理に関するeラーニング (国内の全役員・社員対象)
- 年1回 事業所別コンプライアンス勉強会 (国内支社・支店対象)
- 年2回 コンプライアンスチェックを実施 (国内支社・支店対象)

●内部通報システム



調査委員会の調査結果を以て、コンプライアンス体制を見直す予定

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

NIHON KOHDEN

1

- 三重大学医学部附属病院における医療機器調達に関連して、当社社員3名が贈賄の疑いで逮捕・起訴されました。
- 弊社では、企業の社会的信頼の礎として2017年に腐敗行為防止規定の制定およびグローバル・コンプライアンス・プログラムの導入を行い、グループ全社でコンプライアンス遵守の徹底に最重要課題として取り組んでまいりました。しかしながら、本件の発生を未然に防ぐことができなかつたことを深く反省するとともに、お客様、株主の皆様、すべての関係者の皆様に多大なご迷惑とご心配をおかけしていることを心よりお詫び申し上げます。
- 本件を厳粛に受け止め、当社独立社外取締役2名、外部の弁護士2名を含む調査委員会を1月7日に設置しました。今後の公判を見守るとともに、引き続き事実関係の早期解明に全力を尽くします。また、コンプライアンス・プログラムの検証および見直しと内部統制の一層の強化に努めることにより、再発防止、早期の信頼回復に全社一丸となって取り組むことを誓います。
- 重ねまして、コロナ禍により医療提供体制が逼迫する中、医療現場を支援すべき立場にありながら、このような事態を発生させてしまったことを深くお詫び申し上げます。最前線で奮闘されている医療従事者の皆様に心から敬意を表するとともに、医療機器メーカーの社会的責務を全うするために引き続き最善を尽くしてまいります。

1) 決算概要

	2020/3 第3四半期 累計	2021/3 第3四半期 累計	増減率 (%)	(単位:百万円、単位未満切捨て)
売上高	129,525	137,046	5.8	
国内売上高	94,387	88,004	△ 6.8	
海外売上高	35,137	49,042	39.6	← 為替影響除く: +44%
売上総利益 (売上総利益率)	63,039 48.7%	69,113 50.4%	9.6	← 自社品 売上比率: 2019/12 65.0% → 2020/12 69.1%
営業利益 (営業利益率)	8,396 6.5%	15,586 11.4%	85.6	← 販管费率: 42.2% → 39.0%
経常利益	8,108	14,697	81.2	← 為替差損: 2019/12 511百万円 → 2020/12 1,271百万円
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,832	8,882	83.8	← 【特別損失】 減損損失: 2020/12 320百万円 のれん償却額: 1,193百万円
平均レート	(2019/12)	(2020/12)		
1米ドル	109.0円	106.3円		
1ユーロ	121.3円	122.2円		

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

NIHON KOHDEN

2

- 売上高は5.8%増の1,370億円となりました。第3四半期に入って国内売上が回復したこと、海外が好調を維持したことから、増収に転じることが出来ました。
- 国内売上高は、6.8%減の880億円となりました。検査・手術・入院の延期や、新型コロナウイルス対応以外の予算執行の延期・凍結が影響しました。前年同期に新築移転の大口商談を受注した反動もありました。
- 海外売上高は、全ての地域で二桁成長となり、全体では39.6%増の490億円、現地通貨ベースでは、44%の増加となりました。新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、生体情報モニタ、人工呼吸器、除細動器の需要が底堅く推移しました。
- 営業利益は、増収効果に加え、粗利率の改善と販管費の減少により、85.6%増の155億円となりました。粗利率は、自社品比率が上昇したことから、50.4%となりました。販管費は、営業活動の制限を受けて旅費交通費などが減少しました。
- 経常利益は81.2%増の146億円、純利益は83.8%増の88億円となりました。新型コロナウイルスの影響による海外でのAEDの需要減少を受け、2012年に買収したデフィブテックの、のれん償却、減損損失を特別損失として計上しています。
- 社内計画に対しましては、国内、海外ともに計画を上回りました。

2) 決算のポイント

売上高：前年同期比 5.8%増

- ・国内：検査・手術の減少や生体計測機器など一部製品に対する予算執行の延期・凍結が影響し、減収。前年同期の大口商談の受注の反動減も響く。
- ・海外：生体情報モニタ、人工呼吸器、除細動器の需要が底堅く、二桁増収。

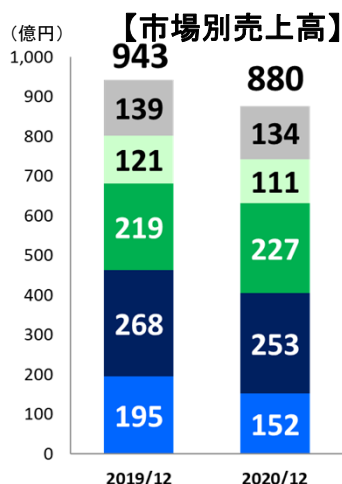
営業利益：前年同期比 85.6%増

- ・増収効果、粗利率の改善、旅費交通費などの販管費の減少により大幅増益。
- ・粗利率は売上構成の良化により、50%台を確保。

純利益：前年同期比 83.8%増

- ・COVID-19感染拡大で海外のAED需要が減少、2012年に買収したデフィブテックの将来計画を見直し、のれん償却額・減損損失を特別損失に計上。

3) 国内売上高



【商品群別売上高】

(単位: 百万円)

	2020/3 第3四半期 累計	2021/3 第3四半期 累計	増減率 (%)
生体計測機器	23,607	20,025	△ 15.2
生体情報モニタ	28,521	27,615	△ 3.2
治療機器	16,900	18,828	11.4
その他	25,357	21,536	△ 15.1
売上高合計	94,387	88,004	△ 6.8

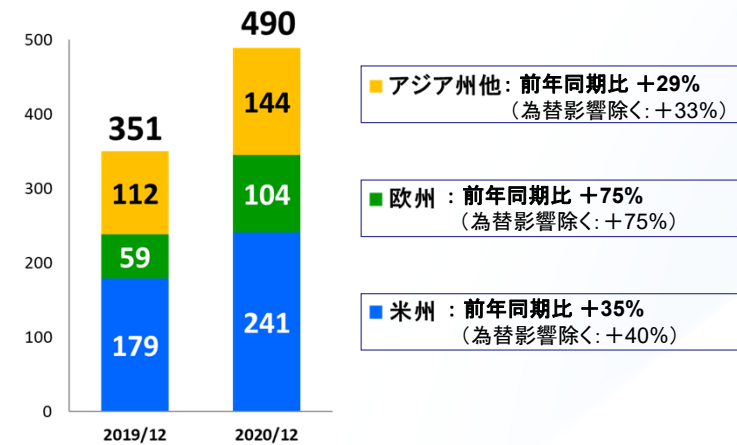
【市場別】 私立病院市場は堅調に推移したものの、大学、官公立病院、診療所市場が低調。大学、官公立病院市場は前年同期の新築移転に伴う大口商談の受注の反動減も影響。

【商品群別】 生体計測機器: 全ての商品が二桁減収。
 生体情報モニタ: 3Qに入り回復基調にあるものの、ベッドサイドモニタ、臨床情報システムが減収。医用テレメータは好調に推移。
 治療機器: 人工呼吸器、AEDが大幅増収。除細動器、ペースメーカー・ICDは低調に推移。
 その他: 前年同期の大口商談の反動もあり、現地仕入品、医療機器の設置工事サービスが大幅減収。

- 国内売上高は880億円となりました。63億円減の大幅な減収となっていますが、前年同期には大学、官公立病院における新築移転商談や、2019年10月の消費税率引き上げ前に一定の駆け込み需要がありました。この反動減の影響が40億円程度あったと見ています。
- 新型コロナの影響については、感染症患者受け入れのための生体情報モニタ、人工呼吸器の需要はあったものの、検査・手術・入院の延期や、生体計測機器などに対する予算執行の延期・凍結が影響しました。
- 生体計測機器、その他商品群は、営業・サービス活動の制限や検査・手術の延期、買い控えの影響などにより、前年同期に比べ二桁減となりました。
- 生体情報モニタは、感染症患者受け入れのため医用テレメータ、送信機が好調に推移したものの、前年同期の大口商談の反動により、減収となりました。
- 治療機器では、除細動器、ペースメーカー・ICDは減収だったものの、人工呼吸器がハミルトン製、自社製ともに大幅に伸長しました。AEDも大幅増収となりました。
- 第3四半期の会計期間では、駆け込み需要の反動で低調だった前年同期実績を上回りました。検査・手術件数の回復や営業・サービス活動の正常化に加え、感染症患者受け入れのための補正予算の寄与により、生体情報モニタ、人工呼吸器の需要が増加したことから、官公立病院、私立病院市場が好調でした。診療所市場も、営業活動の正常化により、売上が回復しました。
- コロナ禍で医療体制が逼迫する中、軽症者向け宿泊療養施設には、LAVITAを使った別室から患者さんの容態を把握できるシステムを提供しています。また、自宅療養者向けにパルスオキシメータの需要が高まっており、増産で対応しています。

4) 海外売上高

【地域別売上高】



【海外売上高比率】

2020/3 第3四半期累計	2021/3 第3四半期累計
27.1%	35.8%

【商品群別売上高】

	2020/3 第3四半期 累計	2021/3 第3四半期 累計	増減率 (%)
生体計測機器	6,394	5,948	△ 7.0
生体情報モニタ	17,487	27,753	58.7
治療機器	7,119	11,700	64.3
その他	4,136	3,639	△ 12.0
売上高合計	35,137	49,042	39.6

為替影響除く: +44%

【地域別】 米州: 米国は二桁成長。中南米はメキシコ、コロンビアを中心に倍増、ブラジルも大幅増収。
 欧州: 西欧諸国、東欧諸国ともに大幅増収。特に、イタリア、イギリス、ポーランドでの売上が倍増。
 アジア州他: イスラエル、インドネシアなどでの大口商談の受注もあり、二桁成長。中国も堅調に推移。
 【商品群別】 生体計測機器: 心電計群は全ての地域で好調に推移するも、脳神経系群が米州、アジア州他で低調。
 生体情報モニタ: 全ての地域で二桁成長。特に、欧州、中南米での売上が倍増。
 治療機器: 全ての地域で、人工呼吸器が一定の事業規模に成長、除細動器も好調。AEDは需要が減少。
 その他: 需要および検査数の減少により、血球計数器・試薬が全ての地域で前年同期を下回る。

- 海外売上高は139億円増の490億円、現地通貨ベースでは44%増加しました。海外売上高比率は35.8%となりました。
- 米州では、感染拡大が続く中、米国は二桁成長、中南米は倍増となりました。中南米では、メキシコ、コロンビアでの売上が倍増、ブラジルも大幅増収となっています。米国では、2020年9月から新型コロナ対策のためのプログラムであるNK-HealthProtectを展開しています。売上への寄与はまだ小さいですが、新規ユーザ獲得のドアオープナーになると期待しています。
- 欧州では、2020年3月、4月の第1波に加え、10月末からの第2波の影響で、西欧、東欧諸国ともに大幅な増収となりました。特に、イタリア、イギリス、ポーランドでの売上が倍増しました。欧州の売上高は104億円となり、通期予想の103億円を9ヵ月で達成する結果となりました。
- アジア州では、イスラエル、インドネシアなどでの大口商談の受注もあり、二桁成長となりました。中国は新型コロナの影響が一巡し、現地通貨ベースで一桁後半、円ベースで一桁半ばの伸びとなりました。中国は12月決算であり、第4四半期も堅調に推移する見込みです。通期でも、現地通貨ベースで一桁後半、円ベースで一桁半ばの増収の見通しです。
- 生体情報モニタ、人工呼吸器、除細動器が全ての地域で大幅な増収となりました。人工呼吸器は、前期に当社初の自社製品2機種を発売しましたが、特に重症患者向けの日本光電オレンジメッド製の需要が底堅く推移し、一定の事業規模に成長しました。除細動器も重症患者の受け入れ体制整備のため、需要が高まりました。
- 生体計測機器やAED、血球計数器については需要の減退や検査数の減少の影響により二桁減となりました。

5) 商品群別売上高

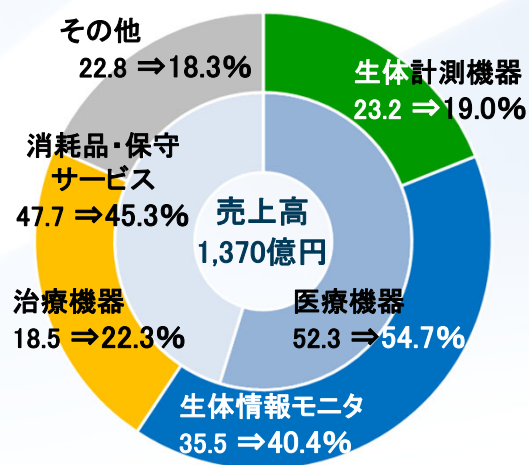
(単位:百万円)

	2020/3 第3四半期 累計	2021/3 第3四半期 累計	増減率 (%)
生体計測機器	30,002	25,973	△ 13.4
生体情報モニタ	46,008	55,369	20.3
治療機器	24,019	30,528	27.1
その他	29,494	25,175	△ 14.6
売上高合計	129,525	137,046	5.8

(ご参考)

消耗品・保守サービス	61,804	62,036	0.4
------------	--------	--------	-----

商品群別売上構成比
(2019/12 ⇒ 2020/12)



- 生体計測機器は前期比13.4%減の259億円、生体情報モニタは20.3%増の553億円、治療機器は27.1%増の305億円、その他は14.6%減の251億円となりました。
- 消耗品・保守サービスも0.4%増の620億円となりました。好調な海外に加え、国内も第3四半期に入って検査・手術件数が回復、サービス活動も正常化したことから、増収に転じました。

[参考] 商品群別売上高の内訳

(単位: 億円、単位未満切捨て)

生体計測機器	2020/3 第3四半期 累計	2021/3 第3四半期 累計
脳神経系群	51	43
心電計群	48	46
心臓カテーテル検査装置群	122	107
その他(診断情報システム等) [※]	77	62

※診断情報システムや他社製の生体計測機器を含みます。

治療機器	2020/3 第3四半期 累計	2021/3 第3四半期 累計
医科向け除細動器	41	52
A E D	108	106
ペースメーカー・ICD	23	20
人工呼吸器	22	80
その他	43	45

その他	2020/3 第3四半期 累計	2021/3 第3四半期 累計
検体検査装置	73	66
画像診断装置、研究用機器他 [※]	221	185

※他の商品群に分類されない、消耗品や設置工事・保守サービスを含みます。

- 新型コロナの影響を大きく受けた商品としては、治療機器において、人工呼吸器が80億円とAEDに次ぐ事業規模に成長し、除細動器も海外で需要が高まりました。一方、検査・手術・入院の延期や、新型コロナ対応以外の医療機器の買い控えの影響で、生体計測機器に含まれる脳神経系群や心臓カテーテル検査装置群、治療機器のペースメーカー・ICD、その他に含まれる画像診断装置他が減収となりました。国内では、自社品販売に注力する施策を続けており、画像診断装置などの現地仕入品については今後も抑制します。

6) 減価償却費と研究開発費

(単位:百万円)

	2020/3 第3四半期 累計	2021/3 第3四半期 累計	増減額	2020/3 前期実績	2021/3 予想	
					期初	11月6日 修正
減価償却費	2,611	2,334	△ 276	3,597	3,600	3,600
研究開発費	4,758	4,430	△ 328	6,731	7,000	7,200
設備投資額				3,549	3,900	3,900

【2021/3期 設備投資計画】

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品、IT投資、工場生産設備(需要の増加に伴う人工呼吸器2機種・生体情報モニタの生産増強を含む)

中位機種ベッドサイドモニタ

2020年11月末
米FDA再申請



CSM-1500/1700シリーズ

ドバイ試薬工場

2020年度4Q
生産開始予定



- 減価償却費は前期比2億円減の23億円、研究開発費は3億円減の44億円となりました。通期の減価償却費は36億円、設備投資は39億円に変更ありません。
- 研究開発費も、新型コロナの影響により臨床試験が遅れている案件もありますが、通期の見通し72億円に変更はありません。
- 中位機種ベッドサイドモニタにつきまして、サイバーセキュリティ対策の開発が完了し、昨年11月末に米国FDAに再申請を行いました。通常、承認まで半年程度かかるため、来年度後半からの売上への寄与を期待しています。
- ドバイの試薬工場は、計画どおり、年度内に生産開始する予定です。

7) 通期業績見通し

	2020/3	2021/3予想			増減率 (%)
	前期実績	期初	11月6日修正	2月2日修正	
売上高	185,007	180,000	184,000	190,500	3.0
国内売上高	134,355	126,200	127,200	129,000	△ 4.0
海外売上高	50,651	53,800	56,800	61,500	21.4
売上総利益 (売上総利益率)	89,325 48.3%	87,200 48.4%	91,300 49.6%	94,700 49.7%	6.0
営業利益 (営業利益率)	15,503 8.4%	14,000 7.8%	16,500 9.0%	20,000 10.5%	29.0
経常利益	14,846	14,000	16,500	19,100	28.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,854	10,000	11,000	11,800	19.7
海外売上高比率	27.4%	29.9%	30.9%	32.3%	
平均レート					
1 米 ド ル	109.1円	107円	106円	106円	
1 ユ ー ロ	121.1円	117円	122円	123円	

← 為替影響除く: +25%

【地域別海外売上高】

	2020/3	2021/3予想			増減率 (%)
	前期実績	期初	11月6日修正	2月2日修正	
米 州	24,731	26,600	28,100	29,600	19.7
欧 州	9,044	8,800	10,300	12,700	40.4
アジア州他	16,876	18,400	18,400	19,200	13.8
海 外 計	50,651	53,800	56,800	61,500	21.4

※2021/3期から、アジア州とその他地域を合わせて、アジア州他としています。
※第4四半期の前提為替レートは104円/米ドル、126円/ユーロです。

- 第3四半期の実績が社内計画を上回ったことから、通期の業績見通しを上方修正しました。
- 国内売上高は、前回予想から18億円増の1,290億円を見込んでいます。緊急事態宣言が再発令され、営業・サービス活動の制限や医療機関における検査・手術の延期などの影響が想定されます。一方で、補正予算を背景に新型コロナ対応の医療体制整備に係る需要が下支えとなり、生体情報モニタ、人工呼吸器を中心に回復基調が続く見通しです。なお、冒頭の社員逮捕・起訴に係る事案により、10ページの表にありますとおり、一部の官公立大学、官公立病院から取引・指名停止の処分を受けていますが、当期連結業績への影響は限定的と見ています。
- 海外売上高は、前回予想から47億円増の615億円、現地通貨ベースで前期比25%増を見込んでいます。欧州が第2波に見舞われるなど感染拡大が続き、第3四半期の売上は全ての地域で社内計画を上回りました。新型コロナ関連の需要は落ち着きつつあることから、第4四半期は反動減を見込んでいます。
- 営業利益については、売上高が前回予想を上回る見込みであることから、200億円を見込んでいます。経常利益、純利益につきましてはご覧のとおりです。粗利率については、通期49.7%の見通しです。

8) 通期業績見直し 修正のポイント

売上高 (前回予想から 65億円増)	国内売上高 (同18億円増)	<ul style="list-style-type: none"> 3Qに続き、4Qも売上回復の見込み 補正予算を背景に、COVID-19対応の需要が下支え 緊急事態宣言の再発令による、営業・サービス活動の制限、医療機関における検査・手術の延期などの影響を想定
	海外売上高 (同47億円増)	<ul style="list-style-type: none"> COVID-19感染拡大に伴う3Qの特需が想定を上回る 4Qは反動減の見込み
営業利益 (同35億円増)	<ul style="list-style-type: none"> 売上高が前回予想を上回る見込みのため、上方修正 	
経常利益 (同26億円増)	<ul style="list-style-type: none"> 円高による為替差損 	
親会社株主に帰属する 当期純利益 (同8億円増)	<ul style="list-style-type: none"> 3Qにのれん償却額・減損損失を特別損失に計上 	

●コンプライアンス事案の業績影響

- 一部の官公立大学、官公立病院で取引・指名停止
- 2月2日修正発表した当期連結業績予想に変更なし

通知を受けた数(1/29時点)

指名停止期間	42国立大学病院	47都道府県
1~3か月間	7	8
4~6か月間	2	9
7~9か月間	0	2
10か月以上	1	3

[参考] 商品群別売上高見通し/為替の影響

(単位:百万円)

	2020/3 前期実績	2021/3 予想				増減率 (%)
		期初	11月6日修正	2月2日修正	構成比(%)	
生体計測機器	42,273	37,200	36,800	37,800	19.8	△ 10.6
生体情報モニタ	64,966	68,500	70,000	74,700	39.2	15.0
治療機器	34,512	35,800	39,800	41,100	21.6	19.1
その他	43,254	38,500	37,400	36,900	19.4	△ 14.7
売上高合計	185,007	180,000	184,000	190,500	100.0	3.0

(ご参考)

消耗品・保守サービス	84,160	82,200	81,500	84,500	44.4	0.4
------------	--------	--------	--------	--------	------	-----

為替感応度の概算値(年間)

	売上高	営業利益
米ドル	3.5億円	0.7億円
ユーロ	1.0億円	0.5億円

- 通期の商品群別の売上高予想については、国内外ともに生体情報モニタ、人工呼吸器の需要が底堅く推移しており、また、国内ではAED、海外では除細動器が好調なことから、ご覧のとおり修正しました。

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

【担当部署】経営戦略統括部

【連絡先】TEL03-5996-8003